

令和元（2019）年度助成事業実績報告書

令和 2年 3月 25日

公立はこだて未来大学 大学院
システム情報科学研究科 情報アーキテクチャ領域
博士（前期）課程 1年 遠藤 史央里

【助成事業の名称】

Sussex 大学への留学

【活動期間】

令和元年 8月 5日 ～ 令和元年 10月 2日

【活動内容】

この度は、海外交流支援事業の助成を受け、イギリス・ブライトンにあるサセックス大学へ留学した。講義を受講する一般的な留学とは異なり、訪問研究者として情報学科の研究室に訪問という形で研究活動に取り組んだ。訪問先の研究室で取り組んだ活動は二つある。

一つ目は、マルチメディアコンテンツにおける他者が受け取る印象の調査である。調査は、訪問研究室の研究員のアドバイスを受けながら、Amazon Mechanical Turk を利用したクラウドソーシングによりアンケートを実施した。Amazon Mechanical Turk により 45 人のクラウドワーカーによる回答が得られ、現在はデータの分析に着手している。クラウドソーシングによるアンケート収集方法は、全世界から効率的にデータを集められ、今後の研究に直接的に活かせる。

二つ目は、多視点カメラ映像における自動スイッチング技術のためのデータ構築手法の検討である。留学出発前にあらかじめ被験者を募り、ある 2 つの発表映像に対して 14 人分のアノテーションデータを収集した。最適なスイッチングアルゴリズムを見つけることを目的とし、留学中には、収集したデータに対し様々なアルゴリズムを適用した。現在は、適用結果の分析まで実施している。今後、追実験を行い、現在のデータと統合し最適なアルゴリズムを再度検討する予定である。

【所感】

住み慣れた日本を離れ、言語や文化の異なる国で生活すること、研究活動を進めていくということに最初は不安を感じていました。しかし実際に生活するうちに、日本との違いが楽しく、また日本にいる時には気づかなかった日本の良さなどにも気づくことができました。伝えたいことが上手く言葉にできないことも少なくありませんでしたが、その分、言語という壁を越えた人々の優しさに触れることができましたと感じます。留学以前は日本国外に殆ど興味をもっていませんでしたが、この経験を通して、もっと他の国も見てみたいという気持ちになりました。非常に貴重な経験をさせていただいたと思っています。留学の機会をいただけたことに、感謝いたします。